

題材名：

「木組み～組んだ形から感じたことを表す～」

(全 12 時間扱い中 第 2 時)

授業日時 令和 3 年 10 月 18 日 (月) 第 1 校時

授業学級 1 年 D 組

授業会場 美術室

授 業 者

指 導 者

(1) ねらい

木の組み方や形の発想を広げることができる。

(2) 授業のポイント

- ・場面：木を組んでどのような形ができるのかを考える。
- ・活動：様々な組み方で木を組む。

(3) 展開

過程	活動	○授業者の主発問・◇留意点・★教材	時間
導入	1. 10 本の木を自由に動かす。	○「木を自由に動かしてみましょう。」 ◇並べ方、バランスが取れず崩れそうな重ね方、具体物などを紹介する。 ◇木を固定するために練りゴムを使うことを説明。	15
	【学習問題】木を組んでどのような形ができるだろうか。		
	2. どのような形ができそうか考え、共有する。	○「どのような形ができそうですか。」 ◇生徒の発言を取り上げながら、組み方の違いで形が変わることを確認する。	
	【学習課題】様々な組み方で木を組もう。		
展開	3. 様々な組み方で木を組み、できた形を写真に撮る。	○「様々な組み方を試して、できた形を写真に撮ってみましょう。」 ◇手が止まっている生徒に対し、近くの人形の形を見たり教師が試したりしてその組み方を確認し、他の組み方や形にも目を向けるよう促す。 ◇具体物の形にする生徒に対し、その組み方を確認し似た組み方の違う形などにも目を向けるよう促す。 ◇一つの形で手が止まっている生徒に対し、その組み方を確認し、似た組み方の違う形などにも目を向けるよう促す。	30
終末	5. 本時の活動を振り返り、試した組み方や形をワークシートにまとめる。	○「どのような組み方ができましたか。」 ◇様々な組み方をした写真を共有する。 【評価】木の組み方や形の発想を広げられている。 (観察・ワークシート)	5